

白子湧き水たんけん観察会 報告1

平成20年8月8日 NPO 法人和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世(462 9912)

実施日 平成20年7月19日(土) 9:30 ~ 12:00

目的 白子地域に湧水と斜面林が一带となった「大坂ふれあいの森」がオープンした。和光市の特徴的な自然が残る白子地域で、夏休みに入ったこの時期に、会の調査、経験を活かして作成した「白子湧き水ふれあいマップ」を活用し、親子向けの夏休みの自由研究のヒントになることを願い観察会を行った。

内容 白子コミセンに15名が集合し、自己紹介と会のメンバー紹介。ほとんどの方が白子地域に住んでいるが、湧き水についてはあまり知らない様子。「白子湧き水ふれあいマップ」を使って地図上の位置と今回のコースを確認。高橋勝緒さんが白子の歴史についてお話。その後、大坂ふれあいの森に移動。

大坂ふれあいの森では、湧き水を守る斜面林、貴重植物のお話。

水車を使って湧き水の利用について観察。湧水中の生き物観察。

熊野神社境内の手洗いの水での湧き水実験。木陰と日向の地温を測定。湧水の性質。

環境に影響する生活で使われる食塩や砂糖の水への影響の実験。

白子コミセンで湧き水マップを活用 ふれあいの森の緑の中。湧水を守る斜面の樹木の働き。



貴重植物と湧き水の話。水車を廻す水の力。確かめてみると面白い。水辺の生き物探し。春はカタクリやイチリンソウ



木の年輪から環境変化がわかります。(森の中で観察)

湧水中にヘビトンボ。



都市部とは思えない森の中、子ども達も自然にのびのび。

白子湧き水たんけん観察会 報告2

熊野神社で環境科学の実験

- ・ 木陰と日向の地温比べ。地温の測れる温度計を使います。
- ・ 熊野神社の湧水で身近な生活と関連した環境をテーマとした湧水実験

pHの標準液で測定前に基準を定める。電気伝導率(EC)も測定。

身近なもの食塩、砂糖、ポッカレモンなどを使って、どのような変化が出るか実験

COD(低濃度)のパックテストを使い、CODでは何がわかってくるかを実験する。

水の水質を知るためには、いろいろな方法でいろいろな角度から実験してみる事が大切。

木陰と日向の地温の違いを測る。

神社の湧水で実験開始。



地層の模型を使って湧水の仕組みを考える。どの地層から湧水が出てくるかの実験。

次に、湧水のpH、電気伝導率測定

環境に影響する塩、砂糖、レモン。先ず味見をして。



身近なものを少し加えることで変化する。大人も興味津々。pH、EC、CODそれぞれ異なる性質が分るのでよく特長を捉えて取り扱うことが大切。今日の実験はこれで終了。



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会
連絡先 462-9912 高橋